

2026年度

Peach Women's Business School

第5回

登壇者：一般社団法人エグゼクティブプレゼンス 代表理事
しなやかクリエイティブ 執行責任者
松岡 孝敬氏

講演テーマ：「ロジカルシンキング」

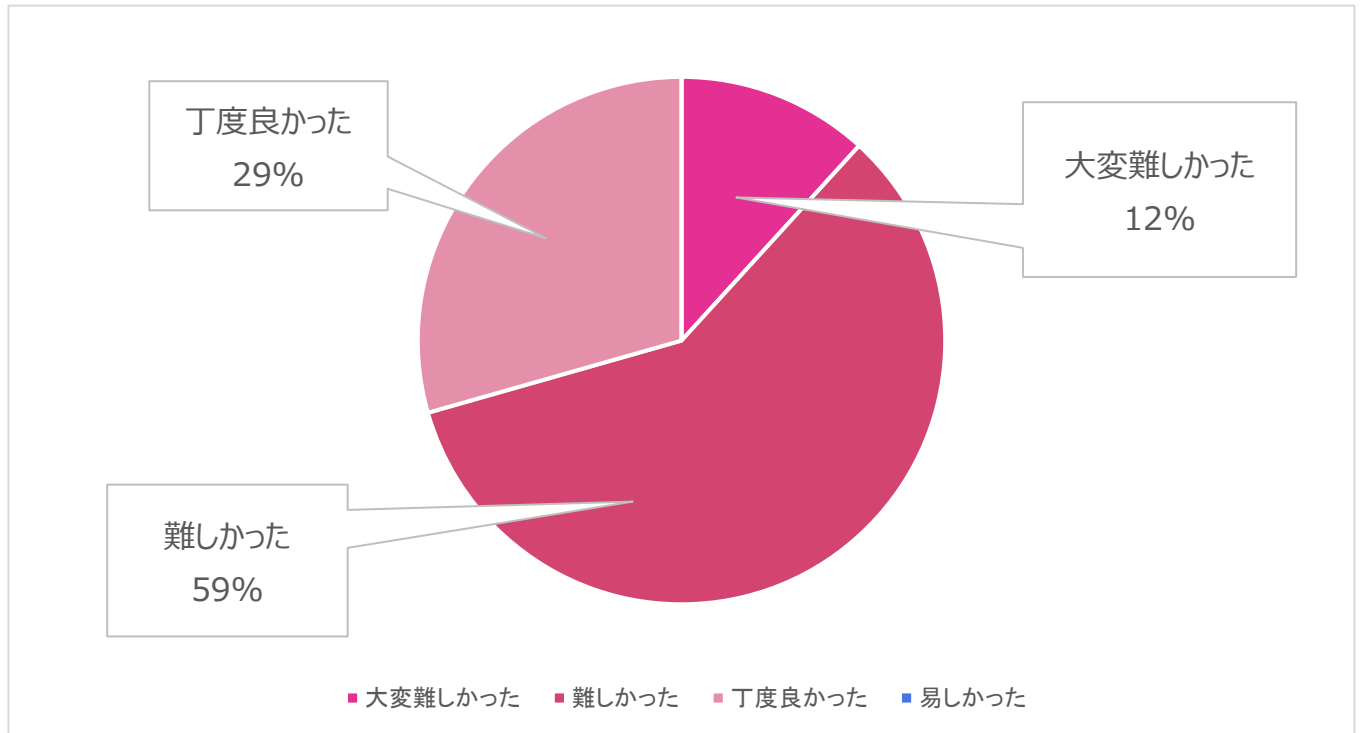
2026年度PWBS 第5回アンケート集計結果

研 修 日 : 2026年9月15日(火)

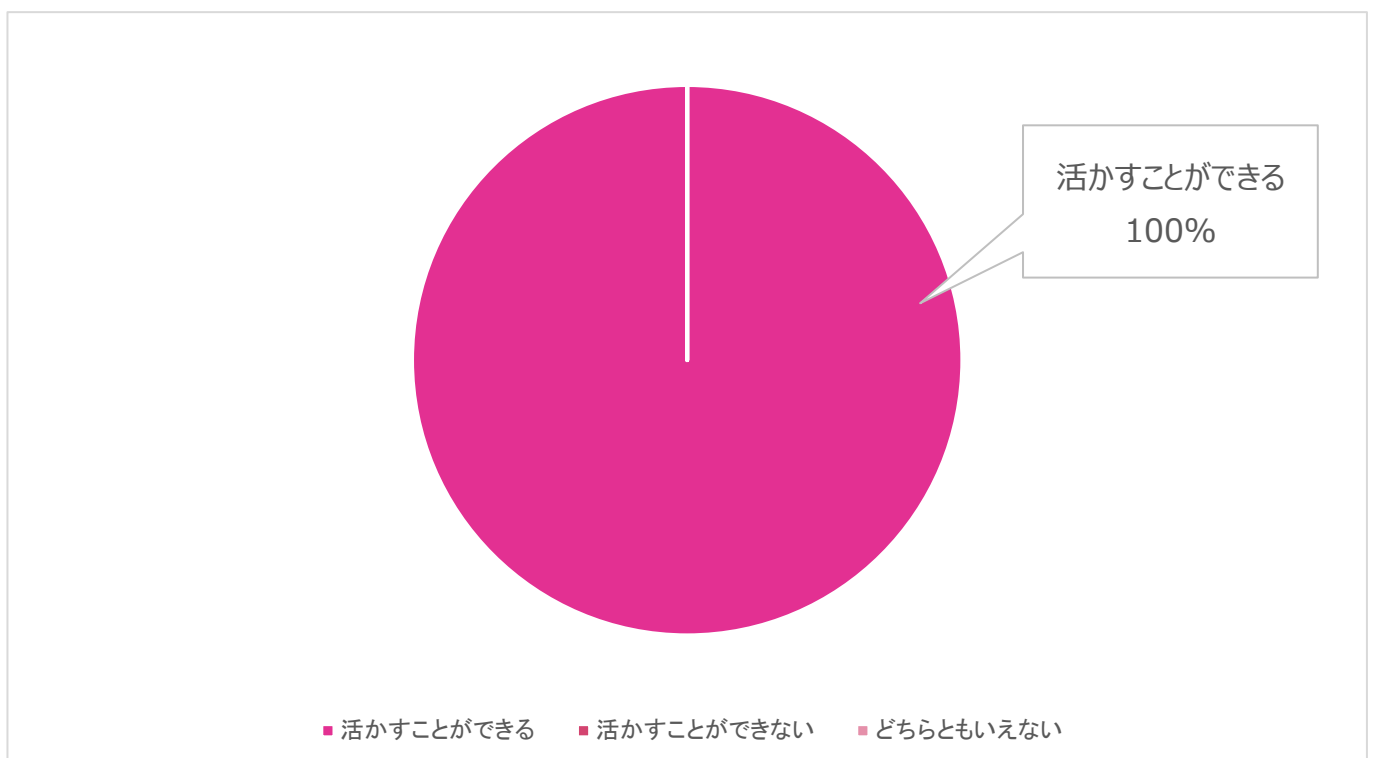
登 壇 者 : 一般社団法人エグゼクティブプレゼンス 代表理事、しなやかクリエイティブ 執行責任者 松岡 孝敬氏

講演テーマ : 「ロジカルシンキング」

(1) 今回の研修の難易度はいかがでしたか。【大変難しかった、難しかった、丁度良かった、易しかった】



(2) 本日学んだことを実務に活かすことはできますか。



上記の理由をお聞かせください。

研修の難易度が難しいを選択したのは、自分の思考が論理的に考えることができておらず、学ぶべきことが多くあったからです。論理的な考え方を学ぶことができ、今後の業務にぜひ活かしたいと思いました。とても有意義な研修となりました。
本日の研修で学んだ「事実・論拠・主張を分けて考える」という考え方は、日々の業務報告やお客様への提案、社内会議での説明に活用できると感じました。特に「空・雨・傘」の考え方やトゥールミンモデルは、結論だけではなく、その根拠や前提条件を整理して伝える際に有効だと思いました。今後は、事実と推測を区別しながら論理的に説明することを意識し、説得力のある提案につなげていきたいです。
実務では、関係者への説明や意思決定場面が多いため、今回学んだ「事実・根拠」「論拠」「結論・主張」を整理する考え方を活用できると感じた。特に、事実と推測・意見を区別し、「それはなぜか」「だから何か」と問いながら隠れた論拠や思い込みを確認することで、論理の飛躍や説明不足を防ぐことができると考える。今後は報告書や提案資料の作成、関係者との協議において、根拠を明確にした分かりやすく説得力のある説明につなげていきたいと思う。
ロジカルシンキングの講義内容について、主張・論拠・反論の整理や論理構造の組み立て方など、普段あまり意識していない考え方が多く、正直なところ少し難しく感じる部分もありました。 また、アイスブレイクで出された問題については、考え方のポイントに気付くことができず、その場で回答できなかったことが悔しく、論理的に物事を捉える力がまだ不足していることを実感しました。
自身と相手の考えに差異があり、その折り合いをつけるには解釈・論拠の整理が不可欠であるため、ロジカルシンキングはとても有効だと思うからです。そのようなケースは多々あり、難しくはありますが、業務を円滑に進めるためにも必要なスキルです。
研修を通じて複数回トレーニングに取り組む中で、自身の思考が知らず知らずのうちに固定化していることを実感しました。提示された答えにすぐ結び付けられない場面もあり、自分なりの思考の癖や先入観が影響していることに気付く良い機会となりました。特に業務に関するテーマでは既存の考え方にとらわれがちですが、今後は異なる視点や発想の可能性を意識しながら物事を捉えていきたいと思います。
物事を俯瞰で見ることやロジックを組み立てて分析したり説明することは業務を円滑に進めることや、他者との関係構築に役立つため。
今回の講習を通して、自分の頭がいかに凝り固まっていたかを痛感しました。アイスブレイクでの思考停止は自分でも驚きました。今後は意図的に「枠」を外して物事を捉える癖をつけていきたいと思います。一つの視点にとどまらず、柔軟に、そして深く掘り下げて考えられる思考力を身につけたいです。 また、提案を行う際には、自分自身の中にある「ビリーフ（思い込み）」や「スコトーマ（心理的盲点）」の存在をまず認識することが重要だと改めて感じました。 その上で、相手の立場や視点に合わせて、多角的にわかりやすく伝える工夫をしていきたいと思います。

本研修で学んだロジカルシンキングは、日々の営業活動や、自分が任されているプロジェクトにおいて活かすことができると確信しました。 顧客に寄り添い、喜んでもらえる提案をするためには、「事実」「自分の解釈」「推測」を切り分けて整理し、憶測だけで判断するのではなく、根拠となる事実や論拠を見出し、誤解や手戻りが無いように、プロジェクトを円滑に進めていくことができるのではないかと考えました。
例えば仕事でミスをしてしまった時、「注意不足だった、見落としていた」で終わらせず、「なぜ見落としたか？→確認する仕組みがなかった→チェックリストを作成する。二重チェックをする。」のように原因と対策を繋げることができると思ったからです。 また、私は人に説明をするのが苦手で、説明をしている途中で自分の意見や考えが曖昧になってしまったり、説明が前後したりしてしまうことがあります。結論、理由、詳細の順番で話し、「〇〇だと思います」だけではなく、「確認できている事実は〇〇、未確認なのは△△」と整理して伝えることを心掛けていこうと思いました。
制度の見直しや他社事例の調査、上司や経営層への提案など、人事業務の様々な場面で活用できると感じた。特に、「事実・論拠・主張」を整理する考え方を身につけることで、制度の必要性や効果をより分かりやすく説明し、説得力のある提案につなげられると思ったため。
普段の業務の中でも、資料作成や説明、課題について考える場面が多く、今回学んだロジカルシンキングの考え方を活かしたいと思います。特に、相手に伝えたいことを整理し、筋道を立てて説明することは、日々の業務でも必要だと感じています。まずは資料作成や人に説明する際に、今回学んだ考え方を意識して実践してみたいと思います。
ロジカルシンキング研修で学んだ内容は、システム導入検討やベンダー提案の評価、稟議作成などに活かせるかと思いました。事実・論拠・主張を切り分けることで、提案や説明の説得力を高めることができると感じました。 また、自分が説明する立場のことも多いので「それは本当か」「だから何か」「なぜそう言えるのか」を意識することで、反論されにくく分かりやすい説明ができるようになると思いました。
意思決定していかないといけない立場にあり、意思決定をしていくにあたりロジカルシンキングは実務に大変役にたつと思いました。実務で活かしていけるよう努めたい。今までの考え方がしみついてしまっているので、根本的な考えかたをかえていく癖をつけたい。
お客様や他部署との交渉等、相容れない目的がある相手と調整する場面が多い業務になるため、分かり易く筋が通った説明が必要となる場面も多いです。ロジカルシンキングを用いることで円滑に業務ができるのではないかと考えます。
業務上、プレゼンテーションを通じて他部署や上層部に提案を伝え、承認を得なければならない機会が多くあります。本講義で学んだロジカルシンキングを活用し、説得力のある資料作成や説明を行うことで、相手の納得感を得やすく合意形成の精度が向上すると思います。
お客様や仕事仲間へ物事を伝える際、自分の思想の範囲で物事を考えて伝えがちになるため、一旦俯瞰して空、雨、傘のロジカルフレームを使って説明できているか解釈部分が抜けていないか考えるようにしていきたいと思います。
自分自身は根拠⇒主張への飛躍が大きいタイプであると自覚しており、他者へ何か説明しても理解を得るまでに時間がかかってしまうことも多くあるので、今回学んだように「主張・根拠・論拠」を整理して話す内容を組み立てることが日常的に上手できるようになれば、業務上のコミュニケーションが円滑になると思いました。

普段の会話を通したコミュニケーションの中でロジカルシンキングを踏まえて対応することはハードルが高いですが、稟議書等を作成する際などに、様々な角度から考える一助となると感じました。

(3) 本日の研修の感想をお聞かせください。

今回の研修は自分に足りない要素でもあるため、大変有意義でした。
日頃の思考がいかにロジカルになっていないかを思い知りましたが、それが楽しくもありました。
論理的に考えることを日頃から気を付けていけば身につくと思いますし、
相手に説明する際にも有効な手段だと思いました。
また、今後の成果発表会にも有効であるため、再度資料を確認し活用していきます。

事実→論拠→結論を基本に考え、
自分の主張を相手に的確に伝えることができるよう実践していきます。

トウルミン・モデルについては
裏付けや限定条件、例外など
どちらにも考えられることがあるため、分け方をもう少し訓練できると理解が深まると思いましたので、再度自分でも資料を読み返し再考してみます。

本日の研修は、これまで経験や感覚で行っていた判断を、論理的に整理する方法を学べる非常に有意義な内容でした。特に、事実と意見を区別することや、隠れた論拠を意識することの重要性を再認識しました。建設プロジェクトにおいても、工程説明や課題報告、お客様への提案などで活用できる内容が多く、今後の業務に役立てたいと思います。

今回の研修では、普段何気なく行っている判断にも、自分の思い込みや隠れた前提が含まれていることに気付いた。グループワークは、事実・推測・意見を見分けたり、主張を支える論拠や例外を整理したりする内容で難しく、正解を導き出すまでに時間がかかった。一方で、参加者それぞれの考え方を共有することで、自分にはなかった視点に気付くことができ、思考を深める良い機会になった。今後は、まず事実を正確に捉えたうえで、根拠や論拠を整理し、相手に分かりやすく伝えることを意識したいと思う。

実務に関係することとして、現場からの問い合わせ対応や各種申請書類の作成、会議での説明などにおいて、相手に分かりやすく伝えるために今回学んだ考え方を活用できると感じました。

順序立てた思考、確かな根拠とそれに対する正しい解釈は自身で出来ていたのかと振り返ると、結論から逆に論理を作っていたりと、解釈ありきで偏りがあったのかも知れないと感じています。説得力を相手に与えるためにも、常に論拠と裏付けを探す癖付けを行っていきたいです。
また研修の中でいくつもワークを設定頂きましたが、事実と論拠を混同してしまい、読み込み不足を自覚しました。読解力の向上が今後の課題です。

研修では、主張を裏付ける根拠なのか、限定条件なのか、あるいは例外にあたるのかを整理しながら考える演習に取り組みましたが、想像以上に難しさを感じました。一方で、このような判断基準を意識することで、物事を感覚的に捉えるのではなく、一度立ち止まって論理的に考えることの重要性を学ぶことができました。実務においても様々な判断を行う場面があるため、今回学んだ考え方を活用し、より論理的かつ客観的な視点で業務に取り組んでいきたいと感じました。

論理的に思考しているつもりであったが、いざ事実と論拠、主張を分解してみると案外自分の中でこの3つの境界線が曖昧であることに気づいた。周囲を納得させる主張をするには、前段階として自身が正しい事実の認識とそれに基づいた深い論拠を持たなければならないということを学んだ。

元々「ロジカルシンキング」は苦手意識があり、受講前は身構えていましたが、松岡先生の優しい進行のおかげで、リラックスして受講することができました。

「様々な考え方があってよい」という前提のもとで、「こう考えるとこうなる」と説明していただき、ずっと理解が深まりました。

グループワークでは、他の方と意見交換することで自分の理解不足に気づくこともあり、大きな学びとなりました。

今後は、今回学んだ内容を日常業務に落とし込み、相手に納得感や共感を持ってもらえるような伝え方を実践していきたいと考えています。

ありがとうございました。

ロジカルシンキングの基本は事実と自分の意見や推測を切り分けて考えることが非常に重要だと感じました。主張・結論には必ず論拠が必要であり、それらが曖昧なままでは説明や提案にはつながらないことも学びました。特に、グループワークのトレーニングのなかで、自分では当たり前だと思っている考え方の中にも「隠れた論拠」が存在することに気づき、また、グループ内でさまざまな意見も飛び交い、正解は1つではなく、多様な視点で考えなければいけないと、大変勉強になりました。

講義の内容はちょうど良い難易度でしたが、学んだことを日常生活で生かすには日頃の意識と習慣が必要になってくると思いました。自分では事実だと思っていることでも、実は推測や思い込みが混ざっている場合はたくさんあるかと思います。毎回トゥールミン・モデルを細かく意識することは難しいですが、日常ではまず「それは本当に事実か」「なぜそう言えるのか」「だからどうすればいいのか」を考える習慣を身につけ、日常でも少しずつ実践していきたいです。

今回の研修で特に印象に残ったのは、「ビリーフ」の考え方である。自分なりに客観的に物事を見ているつもりでも、実際にはこれまでの経験や価値観によって無意識のうちに判断していることがあると気付かされた。

また、トゥールミンモデルについて学んだことで、結論だけでなく、その結論に至った根拠や論拠を整理して考える重要性を理解することができた。日頃、何となく説明しているつもりでも、改めて考えると、主張が先行していたり、根拠が不足していたりすることがあると感じ、大変参考になった。

今後は、自身のビリーフを意識しながら事実と解釈を切り分けて考え、より客観的な視点で物事を捉える習慣を身につけていきたい。

今回の研修を受講し、ロジカルに物事を考えることを、これまで以上に意識していきたいと思いました。

人に説明する際には、自分なりに考えを整理してから話すようにしていますが、振り返ってみると、これまでの経験や感覚に頼って進めていることも多かったと感じます。今回学んだ考え方を知ったことで、なぜそう考えたのか、根拠は何かなどを意識して整理することの大切さに気づきました。

今後は、資料作成や人への説明、日々の業務上の判断など、まずは身近な場面からロジカルに考えることを意識し、少しずつ実務に活かしていきたいと思います。

本日の研修では、事実・論拠・主張を切り分けて考える重要性を学びました

また、少し論点はズレますが、何度かクイズで先生がおっしゃっていた通り研修後半になるにつれて自分の思考速度や集中力が落ちていることを実感し、脳の疲弊が思考のパフォーマンスにこれほど影響するものかと改めて認識しました。今後は、意思決定や資料作成の際には、自身のコンディションや適度な休憩を意識して取り組みたいと思います。

今回の研修を通して1番感じたのは、自分自身の頭がたいぶ固くなっていることです。
ミニクイズを交えながらの講習でしたが、頭がかたく考えれば考えるほど難しくなっていくと感じました。「相関関係」と「因果関係」を一緒にせず、事実をありのままにとらえていけるよう、考え方をかえていきたい。ロジカルシンキングを身につければ、世界観が変わってきそうな期待をもちました。

大変有意義でした。普段の業務でも事実やデータに基づいて交渉をするように心がけていますが、いまいち主張が弱いなと感じることも多々ありました。「根拠がしっかりしているようにみえても実は推測・意見に基づくものであれば論理飛躍により脆弱な主張となる」と明確な言語化があったことでとてもすっきりしましたし、今後主張を組み立てる際にはそこを意識して考える練習をしようと思います。グループワークの内容も面白かったので、特に最後のワーク等時間をかけてできると楽しそうだと感じました。

「推測と意見」や「裏付けと限定条件」など、明確な線引きが困難なものが多くあり、ロジックが通った主張の組み立ては慣れるまではとても難しいと感じました。講義の中で、"人にはビリーフがあり、自分では正しいと思っていても他者から見ると間違っていることはたくさんある"という説明がありましたが、日頃の業務でも上司から主張のロジック不足を指摘されることがあるため、今後は講義の学びを活かし、ロジカルに主張を組み立てられるよう、日々の業務で意識して取り組んでいきます。

考える機会が多く、普段こんなに考えているかなと振り返るいい機会となりました。プレゼン発表時、仕事にも活かせるように普段から意識していきたいです。

私にはとても難しい内容でした。これまで自分の主張を補強するために、無意識下で根拠や論拠を自分の都合が良いように解釈・捻じ曲げていることが多々あったのではないかと思います。自分の主張を真に補強するためには事実を正確に把握し、論拠を深く探っていく必要があることを学びました。

今回の研修において一番難しいと感じたことは、隠された論拠を見出すことです。また、根拠と論拠の違いを正しく理解するには至らなかったように感じています。普段のコミュニケーションや業務の中で研修で学んだ考え方を意識したことはこれまでありませんでしたが、一つの物事を分解して考えることで、より相手に分かり易く相手に伝えることができると感じました。
まだまだ理解できていないことの方が多い状況ですが、引き続き実務の中で今回学んだ考え方を意識し、自然と行動できるようにしていきたいと思います。